

きほんの講座 ① - 1 定員50名

◆カレッジデビュー講座

主 題 まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。地域活動・環境・伝統芸能・健康・芸術など……それぞれの分野で活躍する方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

講座番号 ① - 1

時 間：午後6時30分～8時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回
受講料：1,500円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/23 (月)	都市養蜂がつなげた広がり～みつばちがつなぐもの～	福原 保
第2回	10/30 (月)	東京の森林林業と「中央区の森」の取り組み	安村 毅
第3回	11/13 (月)	はじめての文楽/まだ文楽を鑑賞したことのない方へ向けて	佳山 泉
第4回	11/20 (月)	こころも体も備えてスッキリ！/「人生100年時代」と言われる昨今、「健康維持」にあたって大切な習慣や備えを考えてみましょう！	松本 浩司
第5回	11/27 (月)	～明治7年創業 日本初の西洋楽器店 銀座十字屋プロデュース～ ハープとオカリナで奏でる クリスマスの調べ&ハープのミニ体験会	高山 聖子 君塚 仁子

講師紹介

福原 保 (ふくはら たもつ)

NPO法人銀座ミツバチプロジェクト養蜂スタッフ。中学のころから養蜂に興味を持ち出し、高校1年から自宅で養蜂を始める。2006年開始当初から養蜂指導に携わる。2011年よりスタッフとして入社。大学時代は東南アジアや南米に渡航し現地の養蜂の実態調査を行う。養蜂を通じて地方と都市をつなぐプロジェクトや環境発信を行っている。

安村 毅 (やすむら つよし)

東京都森林組合森づくり推進部職員。東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科卒。組合に入職後、販売加工グループに所属し、多摩産材の製品や製材品の販売業務に約7年間従事する。現在は森づくり推進部に所属し、檜原村エリアの森林整備(植栽や間伐等)や「中央区の森」森林整備施策に携わる。

佳山 泉 (かやま いずみ)

イヤホンガイド解説者。2007年～15年まで国立劇場文楽公演プログラムのあらすじを執筆。著書に『マンガでわかる文楽』(誠文堂新光社)、『ぶんらくの本』(共著、日本芸術文化振興会)。文楽巡業公演プログラム「文楽を覗いてみよう」コラム連載中。

松本 浩司 (まつもと こうじ)

明治安田生命保険・丸の内支社推進役。法人企業を中心に担当。大学卒業とともに明治生命に入社後、三十有余年にわたり本社企画部門から営業第一線での職務等に従事。2022年4月より13年振りに出身地東京に着任後「地元の元気プロジェクト」に携わり、子ども向けサッカー教室や、中央区社会教育会館・区民館・敬老館等において、健康増進・防災・認知症予防等に関する定期講座や健康測定会を開催中。

君塚 仁子 (きみづか のりこ)

銀座十字屋フルート・オカリナ講師。聖徳大学短期大学部音楽科卒業。同大学専攻科、研究科音楽専攻卒業。フルート奏者として活動をする一方で、オカリナの演奏活動を始める。2つのオカリナユニット「君塚トリオ」「ゴシキヒワ」より2枚のアルバムをリリース。クラシック専門Radio OTTAVAプレゼンター。17年NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」月の歌「オカリナのリーナ」を作曲。21年NHKあさイチ「わがままホビー」に出演するなど、マルチ・アーティストとして活躍中。また、オカリナ製作に興味を持ち、心に響く音色や、より演奏しやすい楽器の構造やバランスを研究。オカリナ作家鈴木のぼる氏の協力を得てKimi no Ocarinaを発表する。

高山 聖子 (たかやま せいこ)

銀座十字屋ハープ講師。国立音楽大学音楽学部器楽学科ハープ専攻卒業。
ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、ポーランド国立クラフ・フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団のオーケストラのエキストラ出演。2014年アイルランドで演奏。バックバンドでNHK総合「うたコン」、日本テレビ系「バズリズム」、日本テレビ系「スッキリ」、テレビ朝日系「ミュージックステーション」などテレビ出演。『旅するハーピスト』として全国でのコンサート活動は300ヶ所以上。

◆相手の気持ちに寄り添う “傾聴講座”

主 題 人と人の繋がりが希薄になっている現代、情報に溢れていても孤独や孤立を感じ、つらい思いをされている方がおります。「傾聴」には、“相手の気持ちに寄り添って、相手の心を聴く”という基本姿勢があります。ボランティア活動においても重要なスキルである「傾聴」を学んで、周りの方とのコミュニケーションや対人支援に役立ててみませんか。

『聴く』ためにはある程度の研修が必要です。この講座は『傾聴』の理論とともに体験学習を重視していますので、実践的能力が身につく、コミュニケーション能力のアップにつながります。

※この講座は全ての回にご参加いただくことを前提に、受講生同士で体験学習を行いながら順序立てて理解を進めていきます。

講座番号 ①-2

時 間：午前9時30分～12時30分

場 所：中央区社会福祉協議会

回 数：4回

受講料：1,200円

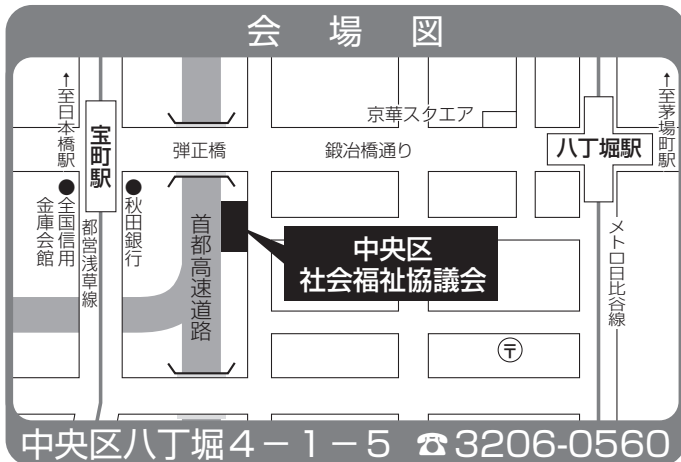
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/13 (水)	傾聴を知る、傾聴を体験する	NPO法人P.L.A 専任講師
第2回	9/16 (土)	受容的、肯定的に聴く	
第3回	9/20 (水)	共感的に聴く	
第4回	9/23 (土)	講座のまとめ	

講師紹介

NPO法人パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション(P.L.A)とは

「“聴くこと”のできる人を育てる」ため、2005年11月に発足。年間200回以上の講座を開催し、傾聴ボランティア活動の普及に大きく貢献している。高齢者のための傾聴ボランティア養成を柱とし、コミュニケーション向上のための傾聴、ボランティアのための傾聴、施設職員のための傾聴、被災者支援のための傾聴など現代社会で必要とされる「傾聴」をより受講生の立場に沿った理論と実技とを取り入れた内容でどなたにも理解できるようにプログラムされている。

会場図



中央区八丁堀4-1-5 ☎3206-0560

ボランティア・区民活動センターでの募集 10名（7月）

定員の半数はボランティア・区民活動センターで募集します。
区内在住・在勤・在学の方がお申し込みできます。

【申し込み方法】

ボランティア・区民活動センターのボランティア情報紙「月刊キャッチボール」7月号（7月1日発行）および中央区社会福祉協議会ホームページ（<https://www.shakyo-chuo-city.jp/>）にて募集を行います。





◆街歩き楽しみ隊

(10/6, 10/20, 11/17, 12/1を除く)

講座番号 ①-3

時間：午後2時～4時
 場所：築地社会教育会館ほか
 ※第2回、4回、6回、8回はまち歩き
 回数：8回
 受講料：2,400円

主題 中央区を知り尽くしたまち案内のボランティアが、中央区の魅力をご紹介します。講義の回には、そのテーマの専門の先生方にお話を伺い、その次の回には、講義に関連した地域のまち歩きを楽しみます。あなたもすっかり中央区通になること間違いなし！

企画・運営協力：中央区文化財サポーター協会

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/29 (金)	徳川家康の江戸打入 ～「江戸」の虚像とポテンシャル～	谷口 榮
第2回	10/ 6 (金)	【まち歩き】 日本橋	文化財サポーター
第3回	10/13 (金)	芝居街を彩った舞踊と音楽	鈴木 英一
第4回	10/20 (金)	【まち歩き】 人形町	文化財サポーター
第5回	11/10 (金)	情報の街・銀座 ～新聞の歴史をひもとく～	石川 徳幸
第6回	11/17 (金)	【まち歩き】 銀座	文化財サポーター
第7回	11/24 (金)	東京ウォーターフロントの原風景 佃島の居住環境史～近世から近代へ～	伊藤 裕久
第8回	12/ 1 (金)	【まち歩き】 佃・月島	文化財サポーター

講師紹介

谷口 榮 (たにくち さかえ)

葛飾区教育委員会事務局生涯学習課文化的景観係兼務産業観光部観光課主査学芸員。葛飾区生まれ。博士（歴史学）。現在、日本考古学協会・観光考古学会理事、東京家政大学・都留文科大学兼任講師。東京下町の歴史と文化、文化遺産の保護と活用について研究している。著書に『東京下町の開発と景観』古代・中世編(雄山閣)、『都市計画家 徳川家康』(MdNコーポレーション)『千ベロの聖地「立石」物語』(新泉社)ほか多数。

鈴木 英一 (すずき えいいち)

歌舞伎研究家、常磐津和英太夫。早稲田大学大学院博士課程修了後、常磐津節演奏家としての活動と同時に、早稲田大学演劇博物館招聘研究員、聖学院大学・宇都宮大学講師として教鞭をとる。専門は、舞踊・邦楽を中心にした歌舞伎研究。研究成果を生かした作品の復活作業、創作活動にも携わっており、代表作は「幸希芝居遊」、「渋谷金丸伝説」、「(かぶき体操) いざやカブかん!」。主著に『十代目松本幸四郎への軌跡』(演劇出版社)などがある。

石川 徳幸 (いしかわ のりゆき)

日本大学法学部新聞学科准教授、日本出版学会理事。日本大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（政治学）。専門は日本ジャーナリズム史。主著に『日露開戦過程におけるメディア言説』(櫻門書房)、共著に『パブリッシング・スタディーズ』(印刷学会出版部)、論文に「史料としての新聞」(『メディア史研究』39号所収)や「デジタル時代の新聞産業とジャーナリズム」(『情報の科学と技術』68巻9号所収)などがある。

伊藤 裕久 (いとう ひろひさ)

東京理科大学嘱託教授。三重県生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。専門分野は都市史・建築史・保存再生計画。著書に『中世集落の空間構造』(生活史研究所)、『近世都市空間の原景』(中央公論美術出版)他多数。保存再生計画に喜多方「蔵の里」(蔵移築再生事業1988年～1995年度)、甲府市武田氏館跡歴史館(基本計画2015年～2016年度)など。魅力的な歴史環境を地道に調査研究しながら、常に未来に向けて「遺す・活かす・創る」ことを考えている。

中央区文化財サポーター協会とは

中央区の養成講座修了生で構成されたまち歩きのボランティア団体で、歴史・文化・伝統ある中央区の史跡・旧跡・名所など、とっておきの見どころを楽しく、親切にご案内しています。



◆伊勢・松阪商人と江戸

講座番号 ①-4

主題 江戸時代、現在の東京は徳川家康の入府以来、徳川の旗印に基づき、安心な都市の構築をし、一大商業拠点として多くの商人が集まりました。

なかでも伊勢（三重県）、近江（滋賀県）などからの豪商たち。彼らの営む商い、そして江戸時代の商人像、そこにある祈り、嗜み、店掟に至るまで歴史・文化を紹介します。また、その商人家のひとつ伊勢松阪からの長谷川家にみる、「継いでいく」という大切さ、こぼれ話などを、学生時代から続ける寺院、神社など史蹟研究とともに学芸員としての立場を活かして、ご参加の皆様との双方向の「学び」を進めます。昨年に引き続いての新たな考察の講座です。

時間：午後2時～3時30分

場所：築地社会教育会館

回数：4回

受講料：1,200円

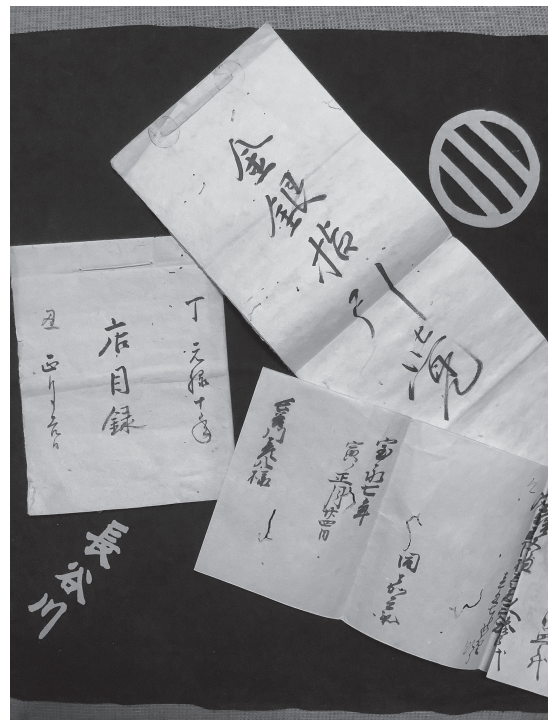
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	11/15（水）	江戸、なかでも日本橋界隈の賑わい、商い	長谷川 隆
第2回	11/22（水）	伊勢・松阪商人（松阪、 ^{いざわ} 射和から）	
第3回	11/29（水）	近江商人（ ^{ごかしょう} 五箇荘、日野から）	
第4回	12/ 6（水）	商人と祈り、嗜み、店掟など心得	

講師紹介

長谷川 隆（はせがわ たかし）

伊勢・松阪から日本橋で1635年（寛永12年）創業、長谷川南家末裔。学芸員。学習院大学卒業後、一族とはいえ店掟によって即入店とは許されず、丁稚奉公、行儀見習いを親戚であり、茶道裏千家・15代・鵬雲斎宗匠夫人登三子様ご実家である近江商人・塚本家（日本橋本町、現ツカモト・コーポレーション）にて修行の機会を与えられ、デパート、一般小売店、和装企画などを担当しつつ、商い、人様との機微、根性を学び、そこから「商い、人生は滅私喜捨・地動説」を説く。

講義では、約300年前・元禄時代、長谷川分家で日々実際に商いをしていた時の大福帳を手に触れていただき、文字の在り方から、当時の紙、薫りを体験して楽しんでまいります。創建・749年（天平21年）松阪・清光寺研究員でもある。



長谷川家古文書

◆画廊へのご招待

主 題 中央区には多くの画廊があり、多種多様なアートを発信しています。この講座は、画廊に興味はあるけれど入りづらいと思っている方を対象に、ギャラリストによる様々な美術の楽しみ方のレクチャーと画廊めぐりを実施します。講座を通じて、画廊の魅力を感じていただけます。

企画・協力：銀座ギャラリーズ

講座番号 ①-5

時 間：午後6時30分～8時
 ※第2回は午後2時～3時30分
場 所：築地社会教育会館ほか
 ※第2回は現地集合・現地解散
回 数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/15 (月)	アートの買い方、買える場所	戸村 力也
第2回	1/20 (土)	画廊めぐり	佐々井 智子
第3回	1/29 (月)	画廊と作家のかかわり	稲垣 正子 松永 聖士

講師紹介

戸村 力也 (とむら りきや)

TomuraLee代表取締役。日本で最初の現代美術を専門で扱う東京画廊での修行後、2019年にソウルでギャラリーを運営していた妻と銀座3丁目にTomuraLeeをオープン。日本の若い作家だけでなく、アジアや欧米の作家の展覧会を開催。国内外のアートフェアにも積極的に参加をしている。

佐々井 智子 (ささい ともこ)

SASAI FINE ARTS代表取締役。東京生まれ。1986年よりギャラリーの仕事に携わり、若手作家の展覧会を中心に企画運営を行っている。

稲垣 正子 (いながき まさこ)

ギャラリーつかう たのしむ+ノーション代表。京都市出身。大学卒業後、印刷会社に勤務し大手企業の新商品に関わるSP（セールスポモーション）のプロデュースを担当。現在、銀座6丁目ヤマザキビル2階にて金属や木工、陶芸などの立体作品を中心に、月に3回のペースで作品展を企画、発信。また花とアートを融合させたコラボレーション作品の発表にも取り組み中。

松永 聖士 (まつなが せいじ)

木彫家。鎌倉市出身。2001年東京造形大学美術II類(彫刻)卒業。その後鎌倉彫6代目伝統工芸士の父・松永龍山に影響を受け、漆の可能性や魅力を追求し始める。蒔絵、螺鈿などの技法を村井養作氏に師事。個展の他、中之条ビエンナーレ、Red Dot Art Fair MAIAMI (米国)などに参加。

銀座ギャラリーズとは

銀座ギャラリーズは、銀座1丁目～8丁目の画廊約40軒による任意団体です。画廊の仕事や美術作品の魅力を知っていただき、気軽に足を運んでもらえるように定期的にイベントを開催しています。

春：画廊の夜会 冬：Xmasアートフェスタ

銀座ギャラリーズが監修した初の書籍『26歳会社員、絵画を買ってみた』（WAVE出版）を2023年春に刊行。

きほんの講座

①－6

定員35名



託児付

(2/13を除く)

◆文楽の世界を楽しむ

講座番号 ①－6

時 間：午後2時～4時
 ※第5回は午前10時～午後2時頃(予定)
場 所：築地社会教育会館
 ※第5回目は、日本青年館ホールに現地集合、現地解散。
回 数：5回
受講料：1,500円
観劇料：6,300円(予定)
イヤホンガイド代：700円(予定)
 ※希望者のみ

主 題 日本の伝統芸能で、ユネスコの無形文化遺産でもある文楽(人形浄瑠璃)について、その魅力を5回にわたり紹介します。

文楽の歴史から、義太夫、三味線、人形、演目の見どころポイントや物語の背景などを解説。庶民の芸能である文楽を楽しむ視点をお話します。

第1～4回の講義では、イヤホンガイド解説者が映像や資料を使い、わかりやすく楽しく文楽の世界へ誘います。第5回では、文楽公演を実際に鑑賞します。

鑑賞当日は、同時解説イヤホンガイドをご利用いただけます。(有料・希望者のみ)

※はじめて受講される方が優先されます。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/16(火)	文楽の歴史、約束事について	佳山 泉
第2回	1/23(火)	文楽の三業～太夫・三味線・人形～	
第3回	1/30(火)	名作演目をズバリ解説!	
第4回	2/6(火)	観劇の演目見どころ解説	
第5回	2/13(火)	観劇	—

講師紹介

佳山 泉(かやま いずみ)

イヤホンガイド解説者。2007年～15年まで国立劇場文楽公演プログラムのあらすじを執筆。著書に『マンガでわかる文楽』(誠文堂新光社)、『ぶんらくの本』(共著、日本芸術文化振興会)。文楽巡業公演プログラム「文楽を覗いてみよう」コラム連載中。